

令和4年4月27日

京都府知事 西脇 隆俊 殿

公益社団法人 京都府看護協会
会長 中島 すま子

京都府看護連盟
会長 澤井 美智子

看護政策の充実に関する要望書

2025年を目前に控え、地域包括ケアシステムの確立と充実はもとより、地域において人々の療養を支える仕組みの強化が急がれます。療養の場はすでに医療機関から地域のあらゆる場所へ広がりつつあり、医療機関の外来や訪問看護など、地域における看護の療養支援へのニーズは高まっています。特に入院と在宅をつなぐ軸となる外来看護には、人々の抱える多様なニーズに十分に看護の力を発揮していくことが期待されています。

また、長引くコロナ禍においては、今もなお多くの看護職員が様々な場で精一杯職責を果たしており、看護職員の果たす役割とその確保の重要性は、かつてない実感を社会にもたらせています。それらを踏まえても看護職員には、その職責に相応する十分な処遇の保障が必要です。その責任と専門性に見合った賃金水準、賃金体系など、全ての看護職員の処遇の抜本的な改善が求められます。

以上より、令和5年度予算案等の編成、政策にあたっては、以下の要望事項の実現に向け、格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

要 望 事 項

- 全ての看護職員の処遇改善の実現
- 新型コロナウイルス感染症による自宅療養者への訪問看護体制整備への支援
- 産後ケア事業の利用料金補助の拡充